

長崎市学力向上プラン
『チームながさき』
のびるプランの実践

- 1 学ぶ意欲があり、学習の習慣を身に付けている子ども
- 2 基礎的な知識や技能を身に付けている子ども
- 3 問題に対し、学んだことを活用して解決方法を導くなど、問題解決力を身に付けている子ども
- 4 自分の考えを論理的にまとめ、しっかりと表現できる子ども

【学校教育目標】

自ら学び、心身共にたくましく、創造性豊かに生きる子どもの育成
～自立し、共に、よりよく生きようとする手熊っ子の育成～

【目指す子ども像】

自 立

- 自ら学び合う子
(基礎基本・思考力・判断力・表現力)
- 明るくたくましい子
(自主、自立、意志、忍耐力)

協 働

- 仲良く助け合う子
(友情、協力、責任、礼儀)

創 造

- 地域を大切にする子
(勤労奉仕、生産、感謝)

【全校目標】 ○国語・算数の学年末テストにおいて、平均正答率80%以上をめざす。

学力向上のための取組

- 1 「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善
- 2 問題解決学習の推進
- 3 体験的な学習の推進
- 4 基礎基本の徹底
- 5 関心・意欲を高める教材の工夫
- 6 読書の奨励
- 7 学び方の育成(学習規律の確立・家庭学習の習慣化)
- 8 個に応じた指導法の工夫
(ユニバーサルデザインの視点に立った支援)
- 9 よさの積極的な評価(認め、褒め、励ます)
- 10 複式授業の研修と充実
- 11 総合的な学習の時間の推進

【研究主題】 主体的に学びに向かい、わかる喜びを実感できる子どもの姿をもとめて
～個に応じた指導を高める手立て～

【重点的な取組】

○確かな学力の定着

- ・対話を重視した授業づくり
- ・はげみの時間の活用
(国語・算数)

○個に応じた指導法の工夫

- ・ユニバーサルデザインの視点に立った支援
- ・環境整備

○家庭学習の充実

- ・家庭学習の手引きの配付
(家庭・児童用)
- ・音読・漢字・計算
- ・自学の取組推進(高学年)

○読書活動の充実

- ・10分間朝読書
(週2回)
- ・読書貯金通帳の活用
- ・読書週間の充実

【子どもたちの学力を支える基本的な生活習慣や心の育成】

5つの習慣「てぐまっこ」

長崎っ子の約束「あはは」運動

てぐまっこ
げんきもりもりプロジェクト

【児童の実態】

◎授業・家庭学習の様子から

- 学習に対する興味・関心は高い。
- 自分の考えを積極的に話そうとする。
- △相手にわかるように話すこと、集中して大切なことを落とさずに聞くことは苦手な子が多い。
- △語彙力、表現力は乏しい。
- △家庭学習の習慣の定着には個人差がある。

◎今年度全国学力調査・県学力調査の結果から

- <国語>
- ⑤⑥目的や条件に合わせて自分の考えを書く力が弱い。
- ⑤結果に二極化が見られる。
- ⑥学習した漢字を適切に使うことができていない。
- <算数>
- ⑤⑥論理的に考えたり、解き方を説明したりする問題でつまずきが見られる。
- ⑤⑥基本的な四則計算は定着している。